

新刊のご案内 (予告)

保健師なら必ず手元に置いておきたい1冊!!

歴史を知り、これからの保健師活動の方向を見据える!

保健師規則から70年——

ふみしめて70年～ 老人保健法制定後 約30年間の 保健師活動の記録 (仮題)

体裁
A4判・約300頁(予定)
定価
3,000～4,000円(予定)
発行
一般財団法人日本公衆衛生協会
(平成24年10月予定)

保健師規則が制定された昭和16年頃からの保健師活動の記録として、
「ふみしめて50年」が刊行されていることは、あまりにも有名である。

その後、老人保健法制定の頃から平成に至る約30年間は、

地域を守り、人々を支える保健師にとって、

まさしく激動の時代であったが、この間の保健師活動は、意外にも記録として残されていない。

そこで、各種の法律や制度の整備、行財政改革、保健医療福祉の一元化、

災害や新型インフルエンザなどの健康危機管理、児童虐待や自殺対策といった諸課題に対し、

時代の波に突き動かされながらも、人知れず対峙してきた保健師の姿を、

「ふみしめて70年～老人保健法制定後約30年間の保健師活動の記録(仮題)」として

取りまとめることとなった。これからの保健師活動を指し示す羅針盤として、是非お手元に!!

構成 (案)

- 総論 歴史のターニングポイント・激動の平成時代
- 各論 そのとき、保健師はどのように活動したか!?
 1. 昭和末期から平成初期 健康づくり、老人保健法制定、老人訪問看護制度制定などに象徴される市町村における保健師活動の幕開けの一方、行財政改革と向かい合う時代。
 2. 平成初期から平成中期 地域保健法制定、母子保健事業や精神保健福祉事業の移管、ヘルスプロモーションにもとづく健康なまちづくりとともに、災害等の健康危機管理に立ち向かう時代。
 3. 平成中期以降 医療制度改革、児童虐待防止や自殺対策、健康格差への対応、新型インフルエンザや東日本大震災への対応を求められた時代。
- 関係団体の活動
- 付録：保健師関連資料 など